

埋地地区

翁町、千歳町、万代町、富士見町、不老町、山田町、山吹町、吉浜町、扇町・寿町・長者町・松影町・三吉町の一部

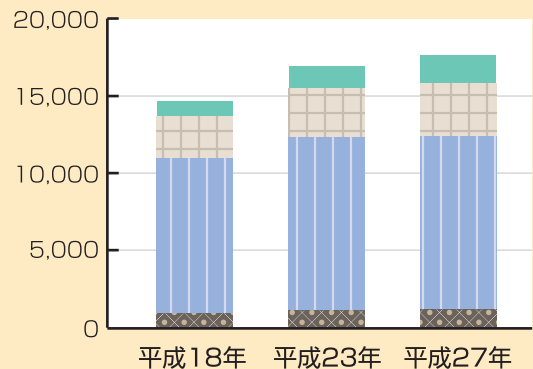


地区の現状 この地区はこんなまち

今から約350年前、吉田勘兵衛氏による干拓事業により埋め立てられた地であることが、地区の名前の由来になっています。お三の宮日枝神社の例大祭や金刀比羅大鷲神社の「酉の市」など、隣接している南区との交流もさかん。地区内は集合住宅が多く、顔のみえる関係づくりのための取組を進めています。

<地区内人口の推移> (単位：人) (各年とも3月末現在)

| | 平成18年 | 平成23年 | 平成27年 |
|--------|--------|--------|--------|
| 18歳以下 | 956 | 1,125 | 1,167 |
| 19~64歳 | 9,996 | 11,221 | 11,237 |
| 65~74歳 | 2,735 | 3,142 | 3,441 |
| 75歳以上 | 984 | 1,448 | 1,821 |
| 合計 | 14,671 | 16,936 | 17,666 |



総人口が増加しています。27年の高齢化率は29.8%と中区平均22.5%と比べて高く、高齢化が進んでいます。また外国人人口が中区内で3番目に多い地区です。こどもたちの通う南吉田小学校の運動会では数か国語の放送が流れます。

● 18歳以下 ■ 19~64歳 ■ 65~74歳 ■ 75歳以上

埋地地区の歴史

約350年前まで、大岡川と中村川に囲まれた現在の埋地地区が含まれる辺りは、遠浅の入海でした。吉田新田の開発者である吉田勘兵衛氏がこの入海を開拓し、陸地化されました。

大岡川と中村川が分岐する場所には歴史ある吉田新田の総鎮守「お三の宮日枝神社」があり、毎年9月にお三の宮日枝神社例大祭が行われます。埋地地区では第1地区中部、南区の地区と共に、その歴史や文化を大切にしています。



この地区の 良いところ

- ◆ 吉田勘兵衛氏による干拓事業により開発された歴史のあるまち。
- ◆ 区画整理された平坦地。鉄道、地下鉄、バス等の交通の便がよく、地区内に地域ケアプラザがあり、公共施設、病院、企業も多い。買い物をする店舗も近くにあり、生活しやすい。
- ◆ 様々な国からの多数の外国人が暮らしている。
- ◆ 個人や企業による清掃活動が活発に行われている。
- ◆ “歩け歩け大会”や“落語サロン”等長く続いている地域行事がある。
- ◆ くつろぎの場であり、地域行事も行える大小の「公園」が多数ある。
- ◆ 防犯パトロールや、地域作業所の通所者も参加する防災訓練を行っている。
- ◆ 隣接している第1地区中部や南区の地区と共に行う「お三の宮例大祭」や、金刀比羅大鷲神社の「酉の市」などの行事も盛ん。



埋地落語サロン

笑う門には福来る!地域の皆さんの交流と“笑うことによって”さらに元気になっていただくため、偶数月の第1土曜日に落語サロンを開催しています。50回を超えて継続されているサロンです。



歩け歩け大会

毎年11月3日の文化の日にウォーキングイベント「歩け歩け大会」を行っています。15年以上も続いているイベントで、町内会役員や青少年指導員、スポーツ推進委員などが中心となり、100名を超える参加者がウォーキングをしながら交流を深めます。



みんなが集う“夢”や“希望”が持てるまちをつくろう！

今後に向けて

- ◆ 自治会町内会加入者や加入意識のある人が少なくなり、地域のつながりが希薄になってきている。
- ◆ 自治会町内会に加入していない世帯や、商店、施設に必要な情報を届けられないことがある。
- ◆ ごみ出しや自転車マナーなど公共的なマナーを守れない人がいる。
- ◆ 道路や公園で、一部の人によるごみや空き缶、タバコの吸い殻などポイ捨てがある。
- ◆ 住民同士だけではなく、企業や働いている人ともつながりをつくりたい。
- ◆ こどもたちがふるさととして愛着をもてる地区にしたい。
- ◆ 地域内に学校がなく、地区内でこどもたちの様子が見えにくい。
- ◆ 外国人の住民が増えているが、地域の中での交流が少ない。

目標と具体的な取組

埋地地区の“えん”結び

- ◆ 富士見中跡地を活用して、もちつき大会やグランドゴルフ等の交流ができる取組を行おう。
- ◆ 富士見中跡地にできるコミュニティハウスを、住民みんなが活用できるように働きかけていこう。
- ◆ こどもと親が参加できる取組を行い、世代間交流をしながら担い手を育成しよう。
- ◆ 落語サロン、老人クラブや各町内会の活動を継続しながら、地域全体で高齢者の見守りを行おう。
- ◆ こどもから高齢者、外国人や障害のある人もみんなと一緒に楽しめるイベントを考えていこう。
- ◆ 定期的開催している活動の情報を、地域のイベントや広報紙等で周知し、新たな参加者を増やしていこう。
- ◆ 住民一人ひとりの防災・減災の意識を高めるため、防災訓練や地域行事に参加し顔見知りになることが、いざという時の助けあいにつながることを様々な機会を通して周知しよう。
- ◆ こどもたちが通う学校と地域の繋がりを深める方法を考えていこう。

埋地地区の元気！

- ◆ 歩け歩け大会、ラジオ体操、スポーツ交流会、保健活動推進員の活動等、健康づくりのきっかけとなる活動を続け、埋地の元気を広げよう。
- ◆ ラジオ体操参加者のごみ拾いや公園愛護会や企業の清掃活動など、個人や活動団体、働く人、みんなでまちをきれいにしよう。

埋地地区みんなの力！

- ◆ こどもも大人も、外国人も、企業や施設等で働く人も、地域みんなが顔見知りになり、イベントや行事への参加、防災・減災の取組を一緒に考えていこう。

このまちに地域の拠点ができるといいな！

埋地地区の中には、小・中学校がありません。小学校の学区は隣接する南区の南吉田小学校。中学校は平成25年4月より、地区内にあった富士見中学校が横浜吉田中学校に統合されました。そのため、こどもたちの様子がまち全体に伝わりづらい環境にあります。

またマンション等の集合住宅が多いため、顔の見える関係づくりが地域にとって、とても重要です。

そこで埋地地区では、平成27年から、富士見中学校の跡地で、防災炊き出し訓練を兼ねた「埋地もちつき大会」を開催しました。今後も、この場所で、こどもから高齢者まで顔を合わせる機会を重ねていけるように取組を続けていきます。

「マンションのベランダから
見えたので来てみました。」
という参加者の方もいました。

